

LANDRiV Pro リリースノート

2016年10月4日

LANDRiV Pro バージョン 1.1.0

目次

◆ LANDRiV Pro 新バージョンリリースのご案内	2
◆ 修正、改良内容.....	2
◆ 機能追加	3

◆ LANDRiV Pro 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV Pro の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV Pro	1.1.0	FOCUS35 用コントローラ FZ-X1

本バージョンの主な変更点は、以下のとおりです。

- ① 中心線データ/路線の作成機能を追加しました。
- ② マップ画面で器械設置のアイコンが表示されない不具合を修正しました。
- ③ 通信デバイス(ParaniSD 1000U)を使用できるようにしました。
- ④ FZ-X1 ハード内、デジタルコンパスを使用した TS 自動旋回機能を追加しました。

尚、詳細につきましては、下記内容をご確認ください。

◆ 修正、改良内容

● 「設計データ」

- 中心線データ/路線(一般現場対応)の作成機能を追加しました。
- ブレーキ点の入力機能(一般現場/出来形現場対応)を追加しました。
- 縦断データの入力機能(一般現場対応)を追加しました。
- 出来形観測データ(任意点)で全てのデータを削除してもマップ内に断面が残る不具合を修正しました。

- 「マップ画面」
 - 削除した点がマップ上に残っている不具合を修正しました。
 - 器械設置のアイコンが表示されない不具合を修正しました。
- 「出来形観測」
 - 出来形観測設定にて座標記録、点名追加方法の設定変更をしても設定値が反映されない不具合を修正しました。
- 「出来形データ」
 - 出来形観測データにて「面積/延長」で管理対象のすべての点を観測しなくても結果が表示される不具合を修正しました。
- 「出来形設定」
 - 出来形観測設定にて「断面離れ」の制限値のタイトルが「断面離れ差」になっている不具合を修正しました。
 - 出来形観測設定にて厚さ許容範囲と深さ許容範囲の「上限」のタイトルが「下限」になっている不具合を修正しました。

◆ 機能追加

- 通信デバイス(ParaniSD 1000U)を使用できるようにしました。
- FZ-X1 ハード内、デジタルコンパスを使用した TS 自動旋回機能を追加しました。

以上